広報 かじき

No.249
昭和51年 3

発行／加治木町
編集／総務課

梅一りん一りんづつの
あたたかさ

本町宮内さん宅にて

■メモ　人口／20,739　男／9,819　女／10,920　世帯／6,558　（51年2月1日現在）

国勢調査公表

わが町の人口 2万60人

前回(45年)より1,894人増

昭和五十年十月一日現在(午前零時)で、実施された国勢調査の結果がまとまりましたので公表いたします。

この結果数値は、本県で集計された概数で、確定数については後日総理府統計局から公表されます。

■総人口

五十年十月一日現在の町の総人口は二万六百十人で、前回の四十五年より千八百九十四人(一〇・一%)増えています。(表1)

昭和三十年から四十五年までは減少の傾向だったが、これが逆転して順調な伸びを示しています。(図1)なお県内での人口順位は、九十六市町村の内末吉町に次いで、本町は十八番目に位置しています。

人口の大半を占める下場地域

(表1) 年次別推移

年次＼区分	世帯数	人口 総数	人口 男	人口 女	女100人につき男
	世帯	人	人	人	
昭和30年	4,760 (104.3)%	20,819 (99.7)%	10,142 (101.1)%	10,677 (98.2)%	95.0
35年	5,003 (105.1)	19,791 (95.1)	9,405 (92.7)	10,386 (97.3)	90.6
40年	5,245 (104.8)	19,133 (96.7)	9,017 (95.9)	10,116 (97.4)	89.1
45年	5,687 (108.4)	18,716 (97.8)	8,758 (97.1)	9,958 (98.4)	89.7
50年	6,532 (114.9)	20,610 (110.1)	9,753 (111.4)	10,857 (109.0)	89.8

( ) 内は対前年比(%)

■男女別人口

十月一日現在の人口を男女別に見ると、男九千七百五十三人、女一万八百五十七人で、四十五年の国調人口にくらべて、男九百九十五人(十一・四%)女八百九十九人(九・〇%)の増となっています。

なお、男女の性比(女一〇〇人につき男)は八十九・八となります。

■世帯数及び一世帯当りの平均世帯員は

世帯数は六千五百三十二世帯で昭和四十五年にくらべて、八百四十五世帯の増となっています。

一世帯当りの平均世帯は三・一六人で、四十五年の三・二九人にくらべると〇・一三人減少しています。

■将来人口

昭和四十二年以降減少していた本町の人口は、昭和四十六年から九州自動車道や鹿児島空港の開設に伴う住宅建設等の伸びにより、増加しはじめています。

昭和五十年国勢調査の結果をもとにした。本町の将来人口は、昭和六十年には三万百四十六人となり、三万人を突破することが予想されます。(表2)(図2)

(図1) 現在までの総人口の推移

(表2)

年	将来人口
昭和51年	21,153人
52	21,819
53	22,568
54	23,401
55	24,316
56	25,315
57	26,398
58	27,564
59	28,813
60	30,146

(図2)

《51年度》

交通災害共済 加入申込み実施中

一日一円のわずかな掛金で、あなたを守り、もし交通事故にあったとき、お互いを助け合うため見舞金をおくろうと、五十一年度も交通災害共済の加入申込みを推進しています。

まだ加入していない方は、お年寄りも子供も家族ぐるみで加入しましょう。

●共済掛金…加入者一人につき三百六十円。

●共済期間…四月一日から翌年三月三十一日まで。

●見舞金の額…**一等級**(死亡の場合)七〇万円▽**二等級**(一八〇日以上医師の治療を要する傷害)一五万円▽**三等級**(一五〇日以上一八〇日未満医師の治療を要する傷害)八万円▽**四等級**(一二〇日以上一五〇日未満医師の治療を要する傷害)七万円▽**五等級**(九〇日以上一二〇日未満医師の治療を要する傷害)六万円▽**六等級**(六〇日以上九〇日未満医師の治療を要する傷害)四万円▽**七等級**(三〇日以上六〇日未満医師の治療を要する傷害)二万五千円▽**八等級**(七日以上三〇日未満医師の治療を要する傷害)一万円。

●見舞金の請求期限…事故発生の日から一年以内)

●加入申込み先…町役場、総務課電話②—二一一一。

※昭和四十九年度の加入者は五千四百五十八人で、内災害見舞金を支払ったのが二十人、総額百一万円が支払われました。

高岡公園（丸岡）は五カ年計画で実施

はじめての町政懇談会（辺川地区）

公園化される丸岡地区

対話のある行政を――はじめてのこころみとして、一月二十九日辺川地区の町政懇談会（町政を語る会）を開きました。

これは地域住民の皆さんと〝対話〟を通じて、よりよい行政の進め方を探したいと行ったものです

町からは町長をはじめ、教育長教育委員長、建設課長、経済課長教委庶務課長と社会教育主事が出席、神園国義さんの座長ですすめられました。

まず東国雄町長より町政の概要「現況と問題点」について説明があり、つづいて寺崎教育長の教育行政全般についての話しがありました。

全体的には、道路の問題がいちばん多く、身近かな問題として活発な意見もでました。その他おもなものでは、町が買収していた高岡公園（丸岡）の今後の見通しと対策などについても質問がだされました。

【次はおもな質問事項】

○高岡公園の今後の見通しと対策
○林道の整備事業（辺川地区）
○一般道路の整備事業

町はこのことについて、次のように考えております。

高岡公園は、都市計画公園として建設を進めていきます。

一月十三日、県都市計画審議会の決定を得ましたので、五十年度から工事を始め、五十四年度までの五カ年計画でやる予定です。

五十年度の工事は公園道路として二〇〇㍍位を建設します。

林道の整備事業については、五十一年度に「第二次林業構造改善事業」として、高井田林道を建設することになっていますが、辺川地区はこの事業の対象にならず、一般林道の整備事業として考えていかなければならないと思います

現在のところ建設については、いろいろと検討中であります。

町道の整備については、町道提水流線および市野辺川線は国鉄バスの路線であり、幅員も狭いので拡幅してほしいとの要望もあります。

しかし町独自の事業では困難であり、補助事業（国や県が負担するもの）でなければ拡幅できないと思います。

当面は、特に路面の悪いところや急なカーブなどのところを逐次改良して行きたい。

以上おおまかなものを述べましたが、小さなことなどたくさん意見が出ました。

今後は、町政発展のためにもこのような住民との対話を、機会あるごとにしなければいけないと思います。

皆さまがたのご協力をよろしくお願いいたします。

『人間万才』の公演を終えて

町青年団連絡協議会長 吉村繁樹

二月二十一日、町青年団主催の新制作座公演に際しましては町内の皆様方に色々とお世話になりました。

会長吉村繁樹

私共、加治木町青年団を結成いたしまして二年足らずの間、いろいろな活動をして参りましたが、しかし今回の「新制作座公演」は今まで例のない最大の活動でありました。ただ、巨額な経費を必要とする事により、私共青年団は再三会合を開き検討いたしました。

しかし、皆様方の暖かいご理解とご協力を頂きこの難事業を無事しかも大成功へと導く事ができました。

新制作座公演が決定してから、二十日間私共は意義ある体験をさせて頂き、またこの公演により良き社会勉強および新しい自信というものを生み出す事ができた様な気がいたします。そして多くの人々に文化公演を楽しんでいただいた事。またそれ以上に団員相互の団結は強くなり、当初の目標が達成できた事は皆さま方の暖かいご協力のたまものと深く感謝しております。

皆さま方のこの公演に寄せられたお気持ちを忘れる事なく、青年団もこの良き体験を足がかりとして、これから自分達の進む道を今一度見なおして、常に前向きに進んで行きたいと思います。

本当にありがとうございました。今後ともご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。

暮しのメモ

卵の経済的な使い方

卵が安くなっている。一個（五十グラム）当り六グラムのたんぱく質のほか、脂質、ビタミンA B² などを豊富にもっているし、料理のバリエーションも楽しめるので大いに使いたい。ところでこの卵大小とりまぜて買っておき、料理によって使い分けるのがより経済的である。

というのは、カラの目方は平均して全体の約一〇%だが、くわしく調べてみると小さいものの方がその比率がやや高く、大きいものは低い。また黄身の重さは卵の大小にあまり関係がないが、白身は大きいものに多い。したがって、何個もまとめてほぐして使う場合や白身を使いたい場合は大きい卵の方がよく、黄身だけを使いたいとき、あるいはフライや天ぷらの衣用などには小さい方が便利である。

（ベターホーム協会）

三月の農事ごよみ

▼普通作物▲

◇甘しょ

中・下旬は苗床の準備・イモの伏せ込みの時期になるから、資材を早目に準備しておく。

種イモは十アールにつき、少なくとも百キログラムを準備し、できればキュアリング倉庫のあるところでは、催芽処理を行う。丸ツボ貯蔵でキュアリング施設のないところでは、一昼夜水に浸漬して萌芽を促進するようにする。

萌芽の温度は三十度内外とされているので、露地でなくトンネルにして加温するように心がける。

▼果　樹▲

◇苗木の植付け

苗木は水でよくほぐし、ていねいに広げて植え付け、たっぷり灌水して支柱に結束固定する。

◇防風樹の手入れ

防風樹は伸びに応じて適宜刈りこみ、下枝は六〇糎位の高さまで切り落す。

▼畜　産▲

◇家　畜

①春暖のうちにも余寒がのこる。気象の急変にそなえて、防寒施設は徐々にとりはずす。

②細菌や寄生虫の活動期に入る。畜舎の消毒を行ない、家畜の衛生管理に注意する。

③青草期には食塩、マグネシウムリンなど微量要素の補給に留意する。

④青草の給与は徐々にふやし、なるべく半乾状態にして与える。

⑤草の成分の不均衡に基因する中毒症などの発生が多いので、日常の牛の観察に注意し、異常牛は迅速に診療をうける。

⑥放牧準備としては削蹄を行い、運動や青草給与にならしておく。

⑦繁殖牛では発情の早期発見、適期授精により、連産につとめる。

作文　からいも学級

柁城小五年　後藤　御千子

学校から帰ってくると、母が「町からのかいらん番で、からいも学級のもうしこみがきているよ」と言ったので、みんなで相談してもうしこむことにしました。

と言うのは、わたしの家には庭がなくていろいろな物を植えることができなくて、土いじりをしたいのです。また、からいもを植えたことやそだちかたをよくしらないので、とってもたのしみでした。

いよいよからいも学級がはじまると、思ったよりきつくてたいへんでした。

ある日、学級生のおじさんからでんわがかかってきて、あなたの家の畑は草がたくさんはえているよ、とおしえてくれたので、さっそく仕事が終ってからべんとうを作って草取りに行きました。草取りが終ったのは、もう八時でした。あたりはうすぐらくなったので、わたしはこわくなって早く家に帰るが、となきそうな声でいうと、父がせっかくおべんとうをもってきたからここで食べようとござをひいたので、しかたなく月を見ながらおにぎりを食べました。食べ終って町のけしきを見ると、でんきの光がとってもきれいに見えました。それできゅうにわたしは家に帰りたくなりました。

しばらくして、またからいも学級がありました。そのときは前に草をとっていたので、草は少しですみました、ひりょうもいれ、少しほってみると、小さいからいもができていたので、わたしはうれしくてとびあがりそうでした。

それから一か月して、からいも学級の日がきました。その日は草は、もう、すこししかはえていませんでした。そのかわりあおむしやかまきりやへんな虫がたくさんいたので、とってもいやでした。でもとっても葉がしげってうねがみえませんでした、どのぐらい大きくなっているかなあーとおもいほってみると、なしよりもずっと大きいぐらいのいもがでてきたので、とってもびっくりしました。

またほってみると、リンゴぐらいのおおきさやたまごぐらいの小さいいもがでてきました。わたしはとってもうれしいでした。

はつしゅうかくのとき、とってもたのしみにしていましたが、習字のせいしょでいけませんでした。

そのときは、とってもざんねんにおもいました。じゅくから帰ってくると、弟が大きいからいもをたくさんとってきて、きんじょにもくばっていました。

ちょうどその日は十五夜だったので食べました。すごくおいしかったです。

物をそだてるということは、とってもたいへんなことだとつくづくおもいました。

たのしい収穫日

はかりは正しい計量で！

計りはいつも正しく

51年度は計量器検定の年

適正な計量で取引きがなされるよう、計量器そのものの正確さをはかるために計量器の検査が実施されます。いくら合格した計量器でも、長い間使用しておれば、いつかは狂ってくることは当然です。

そこで使用中の計量器を定期的に検査して、不正な計量器を排除し、正しい計量器の使用をするため五十一年度に検査が行われます。

この検査は、計量法に基づいて三年に一回受けることになっています。もし検査を受けず使用されますと、五万円以下の罰金が課せられます。十分ご注意ください。

▽計量器検査日程

・四月二十六日＝竜門小体育館（午前10時から0時まで）

・四月二十六日＝永原小玄関（午後1時から午後3時まで）

・四月二十七日＝錦江小体育館（午前10時から午後3時まで）

・四月二十八日＝福祉センター（午前10時から午後3時まで）

話題あれこれ

スポーツ活動で表彰
剣道スポーツ少年団

県教育委員会は二月八日、昭和五十年度児童、生徒スポーツ活動で個人十二人、団体十一の表彰を行いました。

本町からは、加治木剣道スポーツ少年団（向江宏文・三十二人）が団体で表彰をうけ賞状と盾を授与しました。

この表彰は、学校や地域において活潑なスポーツ活動を続け、体力づくりと仲間づくりに貢献し、社会体育振興の中心的役割を果したている団体に与えられたものです。同団体はこのほかにも努力賞などたくさんの表彰を受けています。

県内には約五百の団体が、スポーツ少年団として登録されておりますが、加治木町剣道スポーツ少年団もその加入団体であります。

練習は毎週土曜と日曜日に、全団員が行い、月曜日を除くほかは毎日希望者だけの練習で、道場は若いかけ声が冬夏かわらず響きわたっています。

三月には、水戸市（茨城県）で全国大会が行われます。同スポーツ少年団も、昨年にひきつづいて今年も県の代表として参加します。健闘を祈りたいものです。

ロッテの金田監督
南九州病院を慰問

筋ジス病と闘っている子供たちを、今キャンプ中のプロ野球・ロッテの金田監督が訪れ「プロックサイン」などひ露、喜ばせました。

自治功労者の表彰
岩屋さんら十人

二月二十六日、県町村会の総会で県下町村職員の表彰と全国町村会彰章の伝達が行われました。

当町からは十人が表彰を受けることになり、その表彰伝達式が二十八日町長室でありました。

これは永年、町村職員として地方自治の振興発展に尽された功績は大きいとして贈られたものです。

表彰者は次の方々です。

□全国町村会表彰

岩屋　稔（二十五年）　末永豊（二十五年）　穂満芳徳（二十五年）　上野嘉子（二十五年）　東　勲（二十五年）。

□県町村会表彰

向江重光（二十年）　下楠園仁（二十年）　森木幸雄（二十年）　鈩野ミチ（二十一年）。

お年玉年賀で一等
吉原の諏訪さん

年末に売りだされた、お年玉つき年賀はがきの一等当選が数年ぶり町内からでて、二月四日当選者に佐宗康輝加治木郵便局長から折りたたみ式自転車が贈られました。

この幸運を射止めた人は、町内吉原の諏訪国義さん（五八）で、百二十枚もらった内の一枚が見ごと一等に当ったものです。

同郵便局が配達した年賀は、約四十三万通。内一等が一枚、二等が三枚出たとのこと。

諏訪さんは、自転車を手にして「孫がほしがっかもしれんが、山こっ探しに使もんそ」といかにもうれしそうに〝クモキッゲ〟（クモ気違い）まる出しで話していました。

おめでとうございます。

ぼくらはもうすぐ一年生
健康診断始まる

町教育委員会では、今年新しく入学を予定する児童の健康診断と知能検査をはじめました。

廊下で心配そうに待っているお母さんたちをよそに、子どもたちはしっかりした態度で検査をうけていました。健康診断では、お医者さんの言うことに、はきはきとこたえ、皆んな保育園や幼稚園での集団生活がなれているせいか、誰れ一人泣く子どもはいなかった。

この検査は、例年実施されるもので、新入児としてみんなと共に集団生活に耐えられるかどうかについて行われるものです。

身体検査で治療するようにいわれた病気は、入学前までにぜひ治したいものです。

町連合婦人会 二月の行事から

（婦人会だより）

■**ふるさと学級**

十八日、郷土料理の中から酒ずしを選んで、その作り方をMBC学園講師の湯田京子先生に、ご指導いただきました。

鹿児島の酒ずしは、全国にもその名を知られており、とてもぜいたくな料理です。春の木の芽、たけのこ、鯛、いかなど、しゅんのものをたっぷりと使い、地酒をふくませたご飯と交互にすし桶に重ねていきます。

琉球ぬりの見事なすし桶と相まって、それはすばらしいものでした。ほんとうにお箸をつけるのが惜しくなってしまいました。

次の機会には、その他の郷土の料理を作ってみたいと思っております。

■**生活学校**

二十四日、テーマ「量目について」を実施、今回をもって閉講式を行いました。

当日は、町内全域にわたって試し買テストをしてみました。県計量検定所から中野・前田の両係官においでいただき、町内はエビス屋、タイヨー、江夏各スーパーの店長さん、町商工会の大吉専務、久保係官、町役場から湯川商工水産係長の皆さんを専門メンバーにむかえて開きました。そのくわしい結果は来月号でご報告いたします。

今度買物をして感じたことは、野菜類の量目に割合いバラツキがあったことです。

しかし業者の方もずいぶん量目に対しては心を配っていらっしゃるようです。

これも永い間、生活学校運動によって消費者、業者ともに勉強を重ねてきた結果ではないでしょうか。

五十年度の生活学校は、今回をもって閉講となりましたが、来年度もぜひ続けて行きたいものです。

■**心の健康を高める大会**

二月四日姶良町公民館で開かれました。

大会には加治木町から六十人が参加、新納教義先生、吉年田直先生、大井ヨネ先生のお話しの中から、私たちは身体の健康だけでなく心の健康も大切だという事を学びました。

ご出席くださいました皆さん、遠い所を本当にありがとうございました。

三月行事のお知らせ

■**各校区婦人会総会**

十四日(日)柁城、錦江、竜門、中野以上四校区婦人会の総会が、それぞれの会場で開かれる予定です。

■**ふるさと学級**

二十四(水)妙見温泉、折橋旅館で閉講式をいたします。

十一時現地集合、郷土料理をいただき温泉もありますので、多数のご参加をお待ちしております。

■**町婦連総会**

二十八日(日)加治木町連合婦人会の総会を開きます、代議員（新旧の部落正副会長）の方は、ぜひご出席ください。

■**郡婦連総会**

四月五日(月)加治木町福祉センターで開かれます。

買物は町内のお店で

春先きの食品衛生にご注意

冬の間は、万物の活動が減退低下しておりますが、春先きの陽気とともに活気を取戻し、どんどん成長をはじめます。

冬にはほとんど発生しなかった食品の事故も、春先きになりハエゴキブリ等の発生や微生物の繁殖に伴い、次第に多くなってきます。

食品で起る事故は、食中毒ですすなわちこの食中毒を未然に防止することにあります。

食中毒は、化学性食中毒と細菌性食中毒との二つに大きく分けられます。

■化学性食中毒には、毒フグや毒キノコ等の自然毒によるものと農薬や青酸カリ等の化学毒があります。

■細菌性食中毒には、細菌自体によるものと細菌が繁殖するときに発生する毒素があります。

食中毒のほとんどは細菌性

普通の細菌は、適当な温度、水分、栄養分があればどんどん繁殖します。適当な温度とは人の体温ぐらいの温度です。だから一般的には気温の高い季節ほど細菌は増えます。

食中毒の原因となる細菌は普通の食品にはかなり付着しているものですが、春先きの気温の上昇に伴い、この細菌が活発に繁殖をくり返すので、食品の管理が悪いと細菌性食中毒の発生する危険性があります。

食中毒を防止するには

▽食中毒の原因となる毒物や細菌が付着しないように、食品や調理器具を十分に洗浄し、清潔にする

▽食品を加熱して細菌を死滅させるか、細菌の繁殖できない温度に保つこと。

▽細菌が繁殖しないうちに調理し早く処理する。

食品は清潔に取扱いを丁寧に

春先きの行楽シーズンになり、食品の需要が多くなると、食品の取扱いは粗雑になりがちです。

そのため、食品取扱い業者はすべて食品を清潔に、ていねいに取扱い、衛生的な製造販売を心がけ消費者は、食品の衛生状態を確かめ、日頃から信用ある店舗で新鮮なものを、必要量だけ買い入れることが大切です。

竜門句会

濁ゆるる友の遺影の寒さかな　横山　江南

懐手顎で買物選びおり　伊丹　司朧

天寒くひねもす風が荒野越ゆ　鶴田　耕

せきれいの連れ添ひ歩く庭ひろし　田代　俊一

老眼鏡くもりすかして寒夜の灯　井之上透山

語ることなき夫婦にて夜の炬燵　是枝　快春

寒椿白衣の肩にこぼれけり　曽木　柳田

夕鵯萌え野へ影を捨てて翔つ　中山　待香

すみれ咲く蛭子船跡幣ばかり　松永　愛子

春の雪火の島の上たな引けり　林　玄洋

妻の風邪男の厨渉らず　恒吉　斗南

もぐら打つ手も凍てつくや月の宵　宮脇　思川

2歳児歯科検診より

母と子の歯の予防

10人の内 7人までがムシ歯

二歳児の歯科検診風景

太陽の子運動にちなんで行われてきた、二歳児歯科検診も皆さん方のご協力により年々普及されつつあります。

本町でも二月にこの検診を行い二百六十八人が受診。ムシ歯保有者は百九十五人（七二・八％）ありました。

母親であれば、誰れもこどもが丈夫に、元気に、朗らかに育ってゆくことを願っていることと思います。こどもの幸福を考えるとき歯が痛まなければ関心をもたないということではなしに、一本の歯が生えはじめたときから、深い愛情を注ぎたいものです。

子どもの歯は、乳歯といって全部で二十本ありますが、生後五か月頃から生えはじめて、満二歳頃にそろいます。ところが生えそろうころには、十人のうち五人までがムシ歯をもっています。

また〝子どもの歯はどうせ抜けかわるもの〟と簡単に考えている方がいますが、ムシ歯は歯の病気であり、決して軽視できません。

そこで、母と子の歯について、いくつかひろってみましょう。

子どもの歯の大切なわけ

▼大人の歯にかわるまで、食もつをかみくだき、消化を助けます。

▼子どもの言語や発音に、重要な役目をもっています。

▼歯で食もつをかむことによってあごや顔面や頭の骨の発育をよくするといわれています。

▼子どもの丈夫な歯は、大人の歯のみち案内役をしています。すなわち、歯ならびをよくします。

ムシ歯のない強い子に育てるために。

子どもの健康と発育にとって大切な乳歯は、大人の歯（永久歯）にくらべて抵抗力がよわいのです。すなわち、ムシ歯になりやすく、ムシ歯になると進行が速く、すぐ歯ずい（神経）がおかされ、治癒がなかなか困難となります。なんといっても、ムシ歯を予防する努力が大切です。

■口腔の定期的な診査が必要です。

満一歳のお誕生を記念して、三か月に一回は歯医者さんで口や歯の検査を受けましょう。

■おやつに注意することが必要です。

おやつは午前一回、午後一回と時間をきめて、次の食事とのかんかくを二時間はおくようにして、糖分の少ないもの、歯にねばらないものを選び、できるだけ乳製品果物など軽いものを与えましょう。

■口すすぎや歯みがきによる清掃が必要です。

ご飯、おやつをたべたあと、うがいや歯みがきの練習をはじめましょう。

ムシ歯はこうじてできる

ムシ歯のできる主な原因は、口の中の微生物（細菌）が、歯の表面についている食べかすに増えて酸をつくり歯をとかして行くと考えられています。

ムシ歯は一度できますと、だんだん深く進んで水にしみたり、痛んだりするようになります。なんといっても、酸のできる食べかすの除去が一番大切であり、どうしても歯みがきが必要となります。

また、歯の質を強くして簡単に歯がとけないためには、妊娠中の母体の栄養や出生後の栄養に注意して、丈夫な歯をつくることです。

妊娠中はなぜムシ歯がふえる

妊娠による身体の変調から、歯をとりまく口の中の環境が著しく変化することが原因です。具体的には、つばきがねばっこくなったり、酸性になったりして、歯に食べかすの付着をまねき、口の中が不潔になりやすいことです。

妊娠中の栄養こそ強い歯のもと

妊娠の全期をつうじて、子どもの歯がつくられています。ムシ歯にならない強い歯をつくるには、偏食をしないでバランスのとれた十分な栄養をとることです。

とくに、妊娠初期には、良質な蛋白質を十分にとり、中期からはカルシウム、燐などの無機質やビタミンA、Dなどの摂取が必要です。

妊娠中こそ歯口をきれいに

妊娠中にムシ歯や歯ぐきの病気が多くなるのは、歯や口が汚れやすく、手入れが不十分になるためです。妊娠の全期をとおして、歯口の清掃について十分注意し、食後は必ずうがいや歯みがきをおこない、口や歯をきれいにしましょう。

妊娠中に歯の治療を

妊娠中のムシ歯の発生や進行は妊娠中期においてかなりひどくなりますから、妊娠六か月から七か月までの間に、必要な歯の治療を完了するように心がけてください。

妊娠の後期になると、早期の歯の治療などが困難となることが多く、また出産後一か年ぐらいは、育児の忙しさに追われるなど困難となります。

ムシ歯はなんといっても早期発見、早期治療が大切です。

転宅先ではすぐ電気が使えます

春は転宅(住宅の移動)の多いシーズンです。ご転宅なさる時は、転宅日の四～五日前までに、最寄りの九州電力営業所へお知らせくださるようお願いします。(転宅日までは電気は自由にご使用できます)

なお、その際、領収証のお客さま番号をお知らせくださいますようお願いします。

また、転宅先では、すぐ電気が使えるようになっています。図のように、リミッターのつまみをあげると電気がつきますので、すぐに「電気使用申込書」に必要事項を記入のうえ九州電力へお送りください。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　札立　猪目　森義（母スン）
一万円　札立　岡村ミヨ子（夫利男）
三万円　端山　杉木　正義（母スキ）
一万円　新開　松葉瀬初男（母アクリ）
五千円　中福良　赤水キサ子（夫　纏）
五千円　下新道　堀切　利男（母夕子）
四千円　毛上　犬童　時吉（母アサ）
一万円　市来原　内村　幸男（父金蔵）
一万円　布越　宮原　真哉（妻堀之内アキエ）
二万円　川原　有川　辰雄（母アイ）
三万円　東諏訪　中村　チカ（夫重則）
二万円　端山　内屋　嘉蔵（妻クニ）
一万円　須崎　郡山　章（父正信）
二万円　布越　龍口　昇（姉ハル）
五千円　徳永　徳永　正男（父豊吉）
一万円　鶴原　向江　渡（母イマ）
一万円　浜村　黒田　ヒナ（夫貞夫）
二万円　須崎　杉田常蔵（父常右ヱ門）
二万円　東汐入　林　時雄（母マシ）

＝町育英奨学資金へ＝

三千円　市来原　内村　幸男（父金蔵）
一万円　端山　内屋　嘉蔵（妻クニ）

▼二月二十日までのご寄付を掲載しました。

一般特志寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

五千円　大阪府寝屋川市　福重　正治

三月の在宅医

7日　上妻医院　②二四二一
14日　平山医院　②二四六八
20日　玉利病院　②二三二八
21日　壱岐医院　②二二二二
28日　池田医院　②二二二〇

四月の在宅医

4日　岩崎(昭)医院　②二三一五
11日　大川医院　②二〇三二
18日　神田橋医院　②二〇二四
25日　上妻医院　②二四二一
29日　平山医院　②二四六八

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。
■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください

回顧録 ―③―

学生時代

曽木　隆輝

他人には性急を求めるくせに、自分自身はのん気坊だった。父が小山田の果樹園に行く途中、雨が降りだして、ひとが急げというと急いだところで先の方も降っていると悠々と歩いて行った。そんな遺伝かも知れぬ。

加中では漢文の入部亀治先生の叱らず飾らぬ好々爺のような教え方、後に京大教授になった面瀉久孝、県視学から校長になった山田直記先生の国語など特に深い指導を受けた。

私の家の近隣は軍人の先輩でいっぱいで、西隣には後に海軍中将と少将になられた前田兄弟が居られたし、外祖父はじめ親類も、ちょっと上級の青山茂雄、法元廉、宇都宮直方、馬渡重和、稲田進氏と海軍兵学校や陸軍士官学校に進む人が少くなかった。

父も私が軍人になるよう口にはいわなかったが希望していたようだ。しかし私はそれほど頭はよくなかった。中学卒業の年、同級生の堂免敬造、老山政清君など海軍へ、山内君（国分出身）は陸軍へと数人軍人の学校へ進学、私は七高を受験したが、見事失敗した。

翌年再度ねらった、第一日目の英語がまずくて、翌朝もうやめたとこねった。母に強いられ試験場へ行った。たしか数学だったがヤマが当ったらしく合格した。

暫らく汽車通学したが、二年生のころ、時の県学務課長で後に埼玉県知事になった福島繁三氏に求められ、鴨池にあった向上舎という寮の舎兄という形で寮生活に入った。

社会人も学生もいたが規則正しい自炊生活で、当時高農に居られた竹下の湯田実氏も一緒だった。福島氏はよく他人のめんどうを見る人で、私は加治木の中学や女学校から何人か鹿児島市の学校へ転校も頼んだがきいてくれた。

大学進学の前年秋・鹿児島市内でチフスが大流行し、伝染原因は熊本県あたりから来た生牡蠣で、当時そのエサは人糞をまいていたそうだ、七高生も三四十人罹病、私もその一人で校医、教授と同級生一人ずつも死んだ。私は三か月休んだが助った、学校は同情して期末試験に便宜を与えてくれたらしく、恐らくビリから何番目以内で卒業した。

東大を受験したがまた失敗、京大の文学部へ入学した。山紫水明、祇園の舞子姿も美しい京都で、中学時代の恩師田代善太郎氏が京大理学部の嘱託をして居られたので同氏宅にお世話になることにした。